

ペインクリニックで行う超音波ガイド下ブロック

ペインクリニック科 石川友規

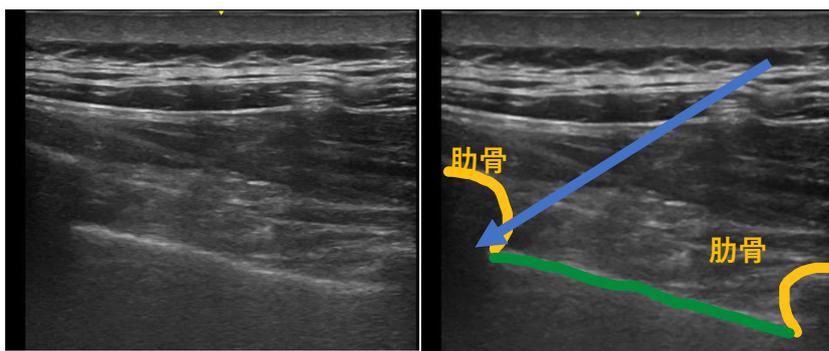
ペインクリニックでは疼痛緩和のために内服調節や神経ブロックを用いて加療を行っております。

古くから行われているブロックとしては星状神経節ブロックや硬膜外ブロック、透視室での腰部、仙骨部の神経根ブロックなどがありますが、近年超音波装置を利用した神経ブロックを施行することが増えてきております。



肋間神経ブロック

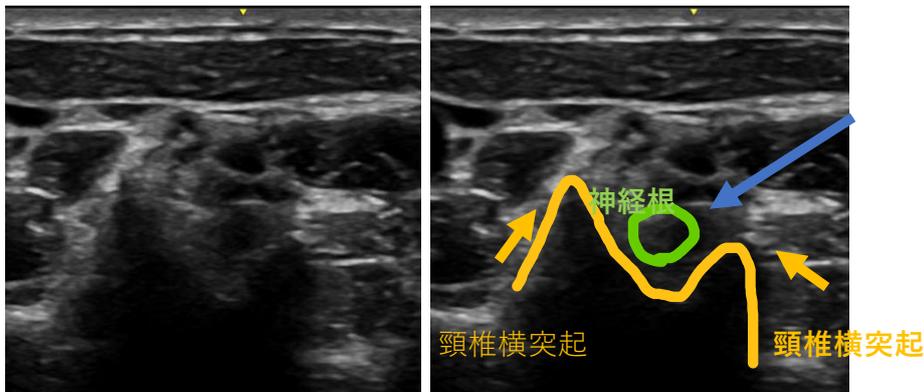
帯状疱疹関連痛や術後痛などの患者さんに行うことが多いブロックです。超音波で肋骨下胸膜直上まで針を進めて薬液を投与します。神経刺激を行い再現痛を確認しながら薬液を投与します。



頸部神経根ブロック

頸椎症性神経根症で上肢の痛みがある患者さんに行うことが多いブロックです。

横突起の形状から目的のレベルを同定してブロックを行います。



その他仙腸関節ブロックや椎間関節ブロック、前腕の選択的な神経ブロック、大腿神経ブロック、坐骨神経ブロックなども症例に応じて行っております。

超音波装置を用いることで血管の誤穿刺のリスクや臓器損傷のリスクを下げるすることができます。また、ベットサイドで行うことができるため透視室の部屋の確保や移動などの手間も省くことができます。

当科では内服調整を基本として、患者さんの状態に応じて神経ブロックの併用を行っております。単回のブロックでは効果時間が短い方にはパルス高周波法や高周波熱凝固法といった長期間の疼痛緩和が期待できるような装置も取り揃えております。

慢性疼痛でお困りの患者様がいらっしゃいましたらお力になれることもあるかと思っておりますので、当科までご相談いただければと思います。